

育英短期大学幼児教育研究所紀要 第17号（抜刷）

保育者の困り感と研修内容の要望について III

－幼稚園免許状更新講習受講者へのアンケート調査の分析－

栗山 宣夫・星野 真由美・柳 晋

A Study on Childcare Workers Difficulties and Demands for Training III : Analysis of
Questionnaire Survey on Participants of Courses for Renewing Kindergarten Teaching License

Nobuo KURIYAMA

Mayumi HOSHINO

Susumu YANAGI

保育者の困り感と研修内容の要望について III —幼稚園免許状更新講習受講者へのアンケート調査の分析—

栗山宣夫・星野真由美・柳晋

I はじめに

免許更新制度もグループ（年齢層）がほぼ一巡し、いよいよ次年度より二巡目を迎える。時を同じくして、現在から近未来への社会を象徴する「Society5.0」を受け、この制度自体も再スタートの線引きをすれば新しいステージに入る。義務教育の教員と同様、幼児教育や保育という営みに従事する教員は今後20年先においても持続可能な職業として位置づけられている。特殊で専門的な研修も、それぞれのキャリアをバックアップするものとして、今という時代を捉えたものとして、かつ子どもが主体者であるといういつの時代であってもかわらない理念を繋げていくものとして、実施されていくことが必要である。

さらに働き方改革の波も避けて通れない社会的背景が加わる。フォーマル色が強い免許更新講習に留まらず、すべての現任者研修がより受講者主体で、新しい知識や技能習得をはじめとする「学びを深める場」として、本来の実務遂行に負荷なく実現し、その効果が受講者の要望を満たすことで初めて現場の「専門性を高めること」に通じる。過去二度のアンケート分析からは、内容において「喫緊の課題として優先されるもの（実践力の強化）」から「保育の本質に立ち返るもの（再教育）」まで、現場の声を反映させることで研修の成果はさらにあがるのが推定された。研修需要に見合った機会の提供（ある程度の選択肢が可能な供給）に加え、そうしたバランスを保ちながら現場に還元できる成果を得るためには、今後、受講と設営側の様々なズレを解消し、「傾向を知ったうえでの具体的対策」が求められると言える。

平成という一括りが時限付の予告をもって終結する。教育要領という10年の長期スパンが3ロット巡り、それぞれの節目で幼児期の教育や保育が吟味されてきた。情報化社会の中にいるだけでなく、デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を見出すという、まさに超スマートな社会に突入している。本調査・研究も「変化に対応し、能動的に学び続け、価値観を更新し続ける人材育成」に寄与するきっかけとしたい。

2018（平成30）は本学の250人を見込んだ免許更新講習に500名近くの初期応募があったことはまさに驚愕であった。実際、すべての要望に応えることは実施する側にとっても限界はある。まして、受講者側の個人的な必要感においてもそれぞれが待ったなしの状況であろう。修了確認期限の2年を、せめて間延びしない程度に延長してほしいと望む者も多いと思われる。しかし、ここ数年来、幼保一体化が実現し、さらに類型を選びながら、それぞれの園・所が「子どもの健やかな成長・家庭や社会との連携、機能の補完」を少しでも円滑に実現させるための「変容の過程」に直面した一つの現象ともとれる。

そんな中、昨年度は群馬県において既存の様々な現任者研修はじめフォーマルな研修に分け入るようにキャリアアップ研修が試行的に導入された。既存研修を読み替え・充当し、認定と管理を厳格に施すことで保育教諭や保育士が3つの分野をクリアした。但し、これらの講座は免許更新かキャリアアップかのいずれかに充当は可能であっても、同時に一人の受講者が両方を満たすことは認

められるものではなかった。これも施設型給付の加配の代償となるものであり、フォーマルでありながら個人負担で受ける免許更新とは目的を異にする。研修の一体化への道は、見えない壁によって遮られているという感覚を受講者はまだ感じている。受講する現任保育教諭等は現場（子どもとの生活）を他者や同僚に委ねて参加していることを考慮すると何とも切ない思いも湧いてくる。子どもに寛容な社会を願うと同時に現場の状況に無理なく適用していける運用など、実際の課題は残る。まして認定こども園への移行をはじめ、施設型給付へ変更するこれまでの幼稚園（保育園・所）が増加の一途をたどる移行時期である。2020年3月をもって修了確認期限が到来するグループの現職者と同時期に有効期限満了となる新免保持者が他グループより多い実態から、2019年度と同様に2020年度も例年以上に受講者が増加することが予測される現実がある。保育士が休眠していた幼稚園教員免許を生かす必要が生じる突発的要因、そこに定期便として教員の質の改善を目指す従来通りの受講者が重なる。どちらも園の組織的運営に欠かせないため、経営側・実践者問わず「安心・安定した受け皿の確保」の喫緊な対応が不可欠である。さらに統計数値が不明なため定かでないが休眠免許の復活者は現任の保育所勤務の保育士だけではない。新規学卒から今まで、過去の実務経験が概ね10年未満で尚且つ一度は転職経験があったり、子育てに専念していたりするなど保育業務にブランクがあった個人的な背景も様々であると推測される。経済的観点から見れば売り手市場と思われるが、人の乳幼児期を担う専門職（未来的展望から、今後も代替がきかない職種に位置付け）であるうえに、前述した①「需給のバランスを踏まえる」、②「資質・能力を兼ね備えた適任人材の確保」からも「新しい時代に対応した、質と量を満たす研修の実現」は経営側の早期の課題であろう。

折りしもそんな背景を持った最中での3年越しアンケート調査であり、子育て三法が施行されての3年間でもある。自ら所属もしくは近い将来に所属予定の園・所が永年営んできた母体から他の類型に移行するなど、関与する者にとって職場環境の変化は大きいと思われる。実際に認定こども園（累計は問わず）の数は増加している。なおのこと、各項目で順位の高いものは、実践者の視点で現実性の高いものと思われる。比較しての数字から「多様な状況、多様な価値観、多様な形態」こそ個々の受講者の置かれた共通した今日的状況であり、家庭や園・所を取り巻く社会の変容次第で目の前の子どもの姿は様変わりする。回答者の困り感や子どもの生活する姿そのものである。「相変わらず〇〇の傾向が高い」ことの検証は制度や園の環境によって左右されるのではなく、それぞれの年代の受講者（実践者）の中・長期的課題として「長い目で見る姿勢」を裏付けるものとして捉えたい。

受講者にとってやっとの思いで得られた貴重な時間を「自らの専門性向上」と「時代に対応したスキルアップ」に繋ぐための、きっかけ、材料となる調査研究としたい。同時に、研修の在り方を「実施形態・構成内容」から考え直し、受講側と設営側のどちらにも成果となる術を吟味する糧にもなれば幸いである。

Ⅱ 調査の方法

本調査は、2018（平成30）年度育英短期大学で実施された「幼稚園免許状更新講習」の受講者に協力を依頼し、日々の教育・保育の現場で困っていることについて、研修などで学んでみたいことについてのアンケートを実施した。

被調査者：免許更新講習の受講者249名。性別、年齢、所属などは表1を参照。

調査方法：2018年度の本学開催幼稚園免許更新講習の受講予定者に対して、6月に郵送にてアンケート調査を依頼した。回収も郵送にて実施した。

表1 アンケート結果 単純集計表 2018（平成30）年度

回答者数 249名

1. 記入者の属性

性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	女性	247	99.2%
2	男性	1	0.4%
	不明	1	0.4%
	全体	249	100.0%

年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	20代	19	7.6%
2	30代	105	42.2%
3	40代	82	32.9%
4	50代	37	14.9%
5	60代	5	2.0%
6	その他	0	0.0%
	不明	1	0.4%
	全体	249	100.0%

所属①

No.	カテゴリー名	n	%
1	公立	31	12.4%
2	私立	197	79.1%
	不明	21	8.4%
	全体	249	100.0%

所属②

No.	カテゴリー名	n	%
1	幼稚園	40	16.1%
2	認定こども園	176	70.7%
3	保育園	18	7.2%
4	その他	9	3.6%
	不明	6	2.4%
	全体	249	100.0%

所属②-1

認定こども園の型

No.	カテゴリー名	n	%
1	幼保連携型（幼稚園由来）	52	20.9%
2	幼保連携型（保育園由来）	92	36.9%
3	幼稚園型	16	6.4%
4	保育所型	2	0.8%
5	地方裁量	0	0.0%
	不明	14	5.6%
	全体	176	70.7%

勤続年数

No.	カテゴリー名	n	%
1	1年未満	3	1.2%
2	1年以上5年未満	22	8.8%
3	5年以上10年未満	65	26.1%
4	10年以上15年未満	74	29.7%
5	15年以上20年未満	33	13.3%
6	20年以上25年未満	35	14.1%
7	25年以上30年未満	5	2.0%
8	30年以上	6	2.4%
	不明	6	2.4%
	全体	249	100.0%

役職・担当①（複数可）

No.	カテゴリー名	n	%
1	クラス担任	154	61.8%
2	園長	1	0.4%
3	副園長・教頭	0	0.0%
4	主幹・主任	15	6.0%
5	フリー	45	18.1%
6	その他	44	17.7%
	不明	8	3.2%
	全体	267	107.2%

役職・担当① - 1

「1. クラス担任」 担当年齢（複数可）

No.	カテゴリー名	n	%
1	0歳児	31	20.1%
2	1歳児	41	26.6%
3	2歳児	30	19.5%
4	3歳児	27	17.5%
5	4歳児	19	11.3%
6	5歳児	19	11.3%
	不明	1	0.6%
	非該当	95	
	全体	168	107.0%

役職・担当① - 2

「5. フリー」の主たる業務（複数可）

No.	カテゴリー名	n	%
1	保育補助	36	80.0%
2	特別支援	6	13.3%
3	子育て支援	7	15.6%
4	その他	7	15.6%
	不明	2	4.4%
	非該当	204	
	全体	58	128.9%

役職・担当① - 3

「6. その他」の内容（複数可）

No.	カテゴリー名	n	%
1	保育補助	21	47.7%
2	子育て支援	8	18.2%
3	庶務・園務	2	4.5%
4	職場復帰	5	11.4%
5	その他	13	29.5%
	不明	1	2.3%
	非該当	205	
	全体	50	113.6%

他の所持資格

No.	カテゴリー名	n	%
1	保育士	217	87.1%
2	看護師	0	0.0%
3	調理師	0	0.0%
4	栄養士	0	0.0%
5	他の教員免許	18	7.2%
	不明	28	11.2%
	全体	263	105.6%

2. 日々の教育・保育の中で困っていることについて (複数可)

No.	カテゴリー名	n	%
1	保育・幼児教育というものをどう考えるか(それをふまえた実践のあり方について)	40	16.1%
2	子どもの発達について	77	30.9%
3	障がいをもつ子どもについて	106	42.6%
4	行動が気になる子への支援のあり方について	199	79.9%
5	保育活動、教育活動の計画や省察について	28	11.2%
6	幼児理解のあり方や支援のあり方について	52	20.9%
7	保育に関わる実技的スキル(音楽・美術・体育)	59	23.7%
8	野外活動や自然体験的活動をおこなう上での知識やスキルについて	21	8.4%
9	児童文化(絵本、人形遊び、劇遊び等)について	11	4.4%
10	行事について	25	10.0%
11	虐待又は虐待を疑われる子どもや家族について	35	14.1%
12	子どもの病気について(学校感染症やアレルギー等)	65	26.1%
13	乳児について	26	10.4%
14	基本的な生活習慣について	41	16.5%
15	保護者との関わり方について	92	36.9%
16	職員間の学びあいについて	34	13.7%
17	教職員間の人間関係について	47	18.9%
18	その他	8	3.2%
	不明	7	2.8%
	全体	973	390.8%

3. 研修などで学んでみたいことについて (複数可)

No.	カテゴリー名	n	%
1	保育・幼児教育というものをどう考えるか(それをふまえた実践のあり方について)	56	22.5%
2	子どもの発達について	111	44.6%
3	障がいをもつ子どもについて	128	51.4%
4	行動が気になる子への支援のあり方について	185	74.3%
5	保育活動、教育活動の計画や省察について	35	14.1%
6	幼児理解のあり方や支援のあり方について	66	26.5%
7	保育に関わる実技的スキル(音楽・美術・体育)	73	29.3%
8	野外活動や自然体験的活動をおこなう上での知識やスキルについて	28	11.2%
9	児童文化(絵本、人形遊び、劇遊び等)について	35	14.1%
10	行事について	23	9.2%
11	虐待又は虐待を疑われる子どもや家族について	42	16.9%
12	子どもの病気について(学校感染症やアレルギー等)	91	36.5%
13	乳児について	45	18.1%
14	基本的な生活習慣について	39	15.7%
15	保護者との関わり方について	83	33.3%
16	職員間の学びあいについて	29	11.6%
17	教職員間の人間関係について	32	12.9%
18	その他	7	2.8%
	不明	7	2.8%
	全体	1115	447.8%

アンケート内容は、被調査者の属性に関しては以下の項目に回答してもらった。

1. 性別、2. 年齢、3. 所属機関①（公立／私立）、4. 所属機関②（幼稚園／認定こども園／保育園）、5. 所属機関②－1 認定こども園の型（幼保連携型（幼稚園由来）／幼保連携型（保育園由来）／幼稚園型／保育所型／地方裁量）、6. 勤務年数（1年未満／1年以上5年未満／5年以上10年未満／10年以上15年未満／15年以上20年未満／20年以上25年未満／25年以上30年未満／30年以上）（以下、「5～10年」のように記す）、7. 役職・担当（クラス担任／園長／副園長・教頭／主幹・主任／フリー／その他）、8. 役職・担当①－1 クラス担任・担当年齢、9. 役職・担当①－2 担当「フリー」の主たる業務、10. 役職・担当①－3 担当「その他」の内容、11. 幼稚園免許以外の所持資格

質問項目は以下の二つ、質問項目1『日々の教育・保育の現場の中で困っていることについて』、質問項目2『研修などで今後学んでみたいことについて』に回答してもらった。これらについては、選択肢（17項目）の中からあてはまるもの全てを選んでもらう複数選択の方法をとった。選択肢に関しては、前回と同様の項目を用いた。結果は全体の単純集計と、質問項目と被調査者の各属性によるクロス集計を実施した。

Ⅲ 結果と考察

結果1. 全体の結果

まず、被調査者の属性と質問項目に対する単純集計の結果についてみていく（表1）。記入内容が不明だった項目については説明を略す。

被調査者の属性

性別は、女性247名（99.2%）、男性1名（0.4%）であった。年代については、10歳ごとに分け選択してもらったところ、20代19名（7.6%）、30代105名（42.2%）、40代82名（32.9%）、50

代37名（14.9%）、60代5名（2.0%）と、30代、40代の受講者が多く合わせて75%を超えた。幼稚園免許状更新講習の受講者へのアンケートという性質から、30歳代、40歳代の現任者（ミドルリーダー後期）が本調査の主な被調査者となっている傾向は前年度と同様である。前年度に比べると20代の受講者が0.8%から7.6%に増加している。

所属機関①については、公立が31名（12.4%）、私立197名（79.1%）であった。前年度の所属機関の傾向とはほぼ同様の割合となった。

所属機関②については、幼稚園40名（16.1%）、認定こども園176名（70.7%）、保育園18名（7.2%）であった。本調査を開始した2年前より認定こども園からの受講者が一番多く（2016年度：40.5%、2017年度：48.9%）、今回はさらに増加し7割を越えた。代わりに保育園所属の受講者が減少した。2017年度の調査からは、認定こども園所属の人には、さらに認定こども園の類型を質問した。その結果、認定こども園所属176名のうち、幼保連携型（幼稚園由来）は52名で全体の20.9%、幼保連携型（保育園由来）は92名で全体の36.9%、幼稚園型16名（6.4%）、保育所型2名（0.8%）、地方裁量0名であった。前回の結果と比べると、幼保連携型（幼稚園由来）が、24名から52名に増え全体の参加者の9.2%から20.9%となり、幼保連携型（保育園由来）は73名から92名に増えその割合は27.9%から36.9%となった。

勤続年数は、勤務経験を全部合わせた年数を記入してもらうようにした。1年未満：3名（1.2%）、1～5年：22名（8.8%）、5～10年：65名（26.1%）、10～15年：74名（29.7%）、15～20年：33名（13.3%）、20～25年：35名（14.1%）、25～30年：5名（2.0%）、30年以上：6名（2.4%）となった。勤続年数は、10～15年が一番多く、次いで5～10年が多くなっている。前年度も勤続年数10～15年が一番多かったが、次は15～20年が多かった。今回の受講者の勤続年数は15年未満の割

合が増え、15年以上が少なくなった。今後も勤続年数や年代の傾向が若干変化してくることが予想される。

役職・担当は、クラス担任154名（61.8%）、園長1名（0.4%）、副園長・教頭0名（0%）、主幹・主任15名（6.0%）、フリー45名（18.1%）、その他44名（17.7%）であり、クラス担任が6割を超え、フリー、その他が続いた。クラス担任の担当年齢では、1歳児クラスの担当が25%を超えて、次いで0歳児、2歳児と続いた。未満児クラスの担任の受講者が多い。「フリー」を選択した人に、さらにその主たる業務を回答してもらったところ、保育補助を選択した人が36名でフリーの業務の8割を占め、次いで、特別支援が6名（13.3%）であった。また、「その他」を選択した人にもさらに担当内容を回答してもらったところ、保育補助、子育て支援と続いた。職場復帰や庶務・園務などに該当する人も少数いた。最後に、幼稚園免許以外の所持資格を質問したところ、保育士資格を217名（87.1%）が所持していた。

今回の参加者の属性で割合が高かった層を整理すると、私立認定こども園（幼保連携型（保育園由来）、（幼稚園由来））所属、年齢30代及び40代、勤続年数5～15年、0～2歳児クラスの担任であった。

質問項目の結果

（1）日々の教育・保育の現場の中で困っていることについて

質問項目『日々の教育・保育の現場の中で困っていることについて』に関する結果を見ていく（表1）。17項目の中で一番多く選択されたのは、「行動が気になる子への支援のあり方について」で79.9%であった。前年度同様に8割近い受講者が困っていることとして選んでいる。次いで、「障がいをもつ子どもについて」42.6%、「保護者との関わり方について」36.9%であった。以上は、過去2年の調査でも上位3項目に入っていた。

続いて、「子どもの発達について」が30.9%で、「子どもの病気について」が26.1%であった。この2つの項目については前年度の割合に比べると少し低くなっている。「保育に関わる実技的技能」の項目が23.7%、「幼児理解のあり方や支援の在り方について」が20.9%で続き、この2つの項目については前年度の割合に比べると高くなっている。残りは2割未満の選択となった。

今回が3年目の調査であるが、これまでの結果と同様で上位項目をみると、「行動が気になる子」や「障がいをもつ子ども」についてなど、特別な配慮や支援が必要な項目について困っていることがわかる。

前年度までとの違いをみると、全体としては困っている割合が低くなっている項目が多い中、「保育に関わる実技的技能」の項目や、「幼児理解のあり方や支援の在り方について」などの項目が高くなっている。これらの傾向は、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に伴って増えてきた現場での困り感と考えられるかもしれない。

（2）研修などで学んでみたいことについて

次の質問では、『研修などでどのようなことについて学んでみたいか』を調査した（表1）。17項目の中で一番多く選択されたのは、「行動が気になる子への支援のあり方について」で74.3%であった。他の項目から20ポイント以上離しての高い結果は前年度と同様である。二番目に多く選択されたのは、「障がいをもつ子どもについて」51.4%であり、これら上位2つは、過去2年の同質問でも、本年度の『困っていること』の質問でも上位であった。

次いで、「子どもの発達について」44.6%、「子どもの病気について」36.5%、「保護者との関わり方について」33.3%、「保育に関わる実技的技能」29.3%、「幼児理解のあり方や支援のあり方について」26.5%、「保育・幼児教育という

ものをどう考えるか」22.5%と続き、残りは2割未満の選択となった。これらの中で「子どもの発達について」、「幼児理解のあり方や支援のあり方について」、「保育・幼児教育というものをどう考えるか」の項目に関しては、前年度の結果と比べると順位には変動はないが、割合が高くなっている。この傾向も教育要領などの改訂を背景とした要望の現れとも考えられる。自由記述の分析などから、さらに要望の内実について考察していくことが今後の課題であろう。

まとめ

『日々の教育・保育の現場の中で困っていること』についても、『研修などで学んでみたいこと』についても、「行動が気になる子への支援のあり方」を選んだ者が8割近くおり、他の項目に比べて突出して多かった。これは過去2回の調査とも同様の結果である。「気になる子」とは、野村（2018）によると、「明確な定義はなく多義的な要素を含んで使用されている用語であるが、大きな発達の遅れなどはみられず、障害児加配の対象になっていないが、集団保育の中で何らかの不適応を起こしている」子どもをさすことが多いとされている。「気になる子」は1990年代から集団保育の中で「問題」として取り上げられるようになり、現在でも今日的課題ととらえられている。

「気になる子」の不適応の背景には、子育て家庭の「経済的・時間的余裕のなさ、生活基盤の脆弱さ」や関わり方の質などが影響していることも軽視できず、保育現場では「子どもの行動上の問題が発達障害などの子ども自身の問題から生じているのか」という判断における迷いが大きいため保育方針が立てにくく、保護者と問題意識を共有しにくい現状があるという。本調査における結果も、こうした「気になる子」をめぐる問題把握の難しさ、対応の難しさが反映されていると考えられる。

近年の研究動向では、「気になる子」を「集団参加に関して特別なニーズをもつ子」ととらえなおし、そのニーズの内容を明らかにしていくこと、「気になる子」を含む保育の有効性を示すとともにその困難さの要因と克服の方法と条件を明らかにしていくこと、それらを実践していく通常の保育そのもののあり方、必要とする条件を解明していくことが重要であると指摘されるようになってきている（野村2018）。本研究においてもアンケート調査の自由記述の分析や、事例の検討、保育者へのインタビュー調査などを加え、「気になる子」について困っている内容がどのような要因からくるものなのか、克服するにはどのような実践や環境が必要なのかを考察していくことが課題であろう。

結果2. クロス集計による結果

（1）日々の教育・保育の中で困っていることについてのクロス集計

次に『日々の教育・保育の中で困っていること』（以下、『困っていること』）についてのアンケート結果について、属性別にクロス集計を行った（表2）。この中で、所属機関（幼稚園：31名、認定こども園：176名、保育園：18名）ごとに、『困っていること』をクロス集計し百分率で示した結果が図1である。図2は、勤続経験年数（5～10年：65名、10～15年：74名、15～20年：15名、20～25年：35名）をクロス集計し百分率で示した。対象人数の少ない勤続年数は図1の表記からは除いた。図3は、役職・担当とのクロス集計であるが人数が少ない園長、副園長・教頭とその他、不明を除いた役職・担当（クラス担任：154名、主幹・主任：15名、フリー：45名）を比較した結果である。これらの結果から、『困っていること』でみられた特徴を以下に記す。

「行動が気になる子への支援のあり方について」が全体で79.9%となっており、全項目の中で最も困っている事項としてあげられる。他の項目

表2 日々の教育・保育の中で困っていること（複数可）

クロス集計（属性別）

回答者数

249名

		2. 日々の教育・保育の中で困っていることについて（複数可）																				
		合計	保育・幼児教育と子どもの発達をどう考えるか	子どもの発達について	障がいをもつ子どもについて	行動が気になる子どもの支援について	保育活動、教育活動の計画や書類について	幼児理解のあり方について	保育に関する実務的技術（音楽・美術・体育）	野外活動や自然体験的活動をおこなう上で知識や技能	児童文化（絵本、人形劇、劇遊び等）について	行事について	虐待又は虐待を疑われる子（学友や家族について）	子どもの病気でいて（学校感染症やアレルギー等）	乳児について	基本的な生活習慣について	保護者との関わりについて	職員間の学びについて	職員間の人間関係について	その他	不明	
全体		249	40	77	106	199	28	52	59	21	11	25	35	65	26	41	92	34	47	8	7	
性別	女性	100.0%	16.1%	30.9%	42.6%	79.9%	11.2%	20.9%	23.7%	8.4%	4.4%	10.0%	14.1%	26.1%	10.4%	16.5%	36.9%	13.7%	18.9%	3.2%	2.8%	
	男性	100.0%	16.2%	30.4%	42.9%	79.8%	11.3%	21.1%	23.5%	8.5%	4.5%	9.0%	14.2%	26.3%	10.5%	16.2%	36.8%	13.8%	19.0%	3.2%	2.8%	
	不明	100.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢	20代	100.0%	10.5%	31.6%	36.8%	84.2%	10.5%	21.1%	31.6%	10.5%	5.3%	21.1%	15.8%	21.1%	26.3%	21.1%	36.8%	15.8%	21.1%	5.3%	0.0%	
	30代	100.0%	15.3%	37.4%	43.8%	85.1%	14.2%	20.2%	32.1%	13.4%	6.1%	12.1%	15.2%	21.1%	10.5%	14.2%	40.2%	17.1%	17.1%	2.9%	1.0%	
	40代	100.0%	17.1%	29.3%	46.3%	80.5%	7.3%	24.4%	19.5%	4.9%	4.9%	6.1%	8.5%	35.4%	9.8%	17.1%	39.0%	9.8%	24.4%	3.7%	4.9%	
	50代	100.0%	21.6%	21.6%	40.5%	75.7%	16.2%	16.2%	10.8%	5.4%	5.4%	10.8%	21.6%	16.2%	5.4%	18.9%	29.7%	10.8%	13.5%	0.0%	5.4%	
	60代	100.0%	20.0%	20.0%	40.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
所属①	公立	100.0%	16.1%	35.5%	45.2%	80.6%	12.9%	22.6%	32.3%	16.1%	9.7%	9.7%	22.6%	29.0%	6.5%	19.4%	48.4%	12.9%	19.4%	6.5%	3.2%	
	私立	100.0%	16.8%	31.5%	41.1%	81.7%	11.7%	20.3%	22.8%	7.1%	3.0%	10.7%	13.2%	26.4%	12.2%	16.2%	37.1%	13.7%	19.3%	3.0%	2.5%	
	不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	100.0%	9.5%	19.0%	52.4%	61.0%	4.8%	23.8%	19.0%	9.5%	4.8%	7.6%	16.3%	31.5%	13.0%	15.2%	35.9%	10.9%	20.7%	3.3%	3.3%	
所属②	幼稚園	100.0%	20.0%	42.5%	50.0%	90.0%	20.0%	27.5%	37.5%	12.5%	2.5%	12.5%	12.5%	17.5%	7.5%	17.5%	40.0%	15.0%	15.0%	5.0%	2.5%	
	認定こども園	100.0%	14.8%	30.7%	40.9%	79.5%	10.2%	18.2%	21.6%	8.0%	5.7%	10.2%	13.1%	27.8%	12.5%	18.2%	35.2%	12.5%	19.3%	3.4%	2.3%	
	保育園	100.0%	11.1%	16.7%	33.3%	66.7%	11.1%	38.9%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%	27.8%	5.6%	0.0%	44.4%	27.8%	27.8%	0.0%	0.0%
	その他	100.0%	33.3%	22.2%	44.4%	66.7%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	
	不明	100.0%	16.7%	16.7%	66.7%	83.3%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	
	幼稚園・保育園	100.0%	13.5%	34.0%	48.1%	80.8%	17.3%	19.2%	21.2%	3.8%	5.8%	9.6%	9.6%	26.9%	13.5%	15.4%	34.6%	7.7%	17.3%	3.8%	1.9%	
	不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
所属②-1	幼稚園型	100.0%	31.3%	31.3%	25.0%	68.8%	6.3%	18.8%	37.5%	12.5%	6.3%	12.5%	2.2%	18.8%	12.5%	37.5%	37.5%	18.8%	12.5%	6.3%	0.0%	
	保育所型	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	地方裁量型	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	不明	100.0%	7.1%	28.6%	42.9%	85.7%	14.3%	21.4%	21.4%	14.3%	28.6%	7.1%	21.4%	7.1%	28.6%	35.7%	35.7%	21.4%	0.0%	0.0%		
	1年未満	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
	1年以上5年未満	100.0%	22.7%	13.6%	45.5%	77.3%	22.7%	18.2%	27.3%	9.1%	4.5%	4.5%	22.7%	9.1%	9.1%	22.7%	4.5%	4.5%	0.0%	4.5%		
	5年以上10年未満	100.0%	13.8%	41.5%	46.2%	81.5%	9.2%	18.5%	27.7%	10.8%	3.1%	7.7%	13.8%	21.5%	18.5%	20.0%	40.0%	9.2%	18.5%	4.6%	3.1%	
	10年以上15年未満	100.0%	9.2%	29.7%	37.8%	81.1%	12.2%	21.6%	25.7%	6.8%	2.7%	13.5%	13.5%	28.4%	10.8%	21.6%	39.2%	18.9%	17.6%	1.4%	2.7%	
	15年以上20年未満	100.0%	12.2%	30.3%	51.5%	84.8%	9.1%	21.2%	27.3%	9.1%	6.1%	6.1%	18.2%	36.4%	6.1%	12.1%	39.4%	6.1%	21.2%	0.0%	3.0%	
	20年以上25年未満	100.0%	28.6%	37.1%	37.1%	80.0%	8.6%	25.7%	11.4%	8.6%	5.7%	14.3%	17.1%	25.7%	2.9%	11.4%	37.1%	22.9%	31.4%	5.7%	2.9%	
	25年以上30年未満	100.0%	0.0%	0.0%	60.0%	80.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30年以上	100.0%	16.7%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%		
不明	100.0%	0.0%	16.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%		
役職・担当①	クラス担任	100.0%	13.0%	29.2%	37.7%	82.5%	13.0%	17.5%	24.7%	9.1%	5.2%	13.0%	13.0%	24.7%	10.4%	16.9%	40.3%	12.3%	17.5%	3.2%	1.3%	
	園長	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	副園長・教頭	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	主幹・主任	100.0%	13.3%	6.7%	46.7%	60.0%	20.0%	20.0%	26.7%	6.7%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	13.3%	13.3%	20.0%	33.3%	46.7%	7.0%	0.0%	
	フリー	100.0%	22.2%	40.0%	55.6%	84.4%	8.9%	33.3%	22.2%	4.4%	4.4%	6.7%	8.9%	22.2%	11.1%	22.2%	31.1%	13.3%	15.6%	0.0%	2.2%	
	その他	100.0%	20.5%	34.1%	50.0%	72.7%	4.5%	20.5%	20.5%	9.1%	2.3%	2.3%	13.6%	29.5%	13.6%	11.4%	27.3%	4.5%	15.9%	4.5%	6.8%	
	不明	100.0%	12.5%	25.0%	50.0%	75.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	12.5%	
	保育補助	100.0%	25.0%	41.7%	55.6%	83.3%	8.3%	36.1%	22.2%	5.6%	2.8%	5.6%	5.6%	19.4%	13.9%	22.2%	33.3%	13.9%	16.7%	0.0%	2.8%	
	特別支援	100.0%	0.0%	16.7%	100.0%	100.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	
	子育て支援	100.0%	14.3%	14.3%	42.9%	85.7%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	
その他	100.0%	28.6%	57.1%	57.1%	71.4%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%		
不明	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
役職・担当②-1	保育補助	100.0%	14.3%	28.6%	38.1%	66.7%	4.8%	23.8%	4.8%	9.5%	4.8%	0.0%	9.5%	38.1%	4.8%	4.8%	14.3%	0.0%	9.5%	9.5%	9.5%	
	子育て支援	100.0%	25.0%	37.5%	62.5%	100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	37.5%	12.5%	5.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%		
	庶務・園務	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	職場復帰	100.0%	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%		
	その他	100.0%	23.1%	38.2%	53.8%	76.0%	7.7%	15.4%	30.8%	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	23.1%	15.4%	23.1%	23.1%	0.0%	15.4%	0.0%		
	不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	他の所持資格	100.0%	15.2%	30.4%	41.5%	79.7%	12.0%	19.8%	22.6%	8.8%	4.6%	10.6%	14.3%	26.3%	10.6%	15.2%	32.8%	12.9%	19.8%	3.7%	3.2%	
看護師	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
調理師	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
栄養士	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
他の教員免許	100.0%	33.3%	33.3%	50.0%																		

図1 日々の教育・保育の中で困っていること(複数可)
所属機関別クロス集計(百分率)

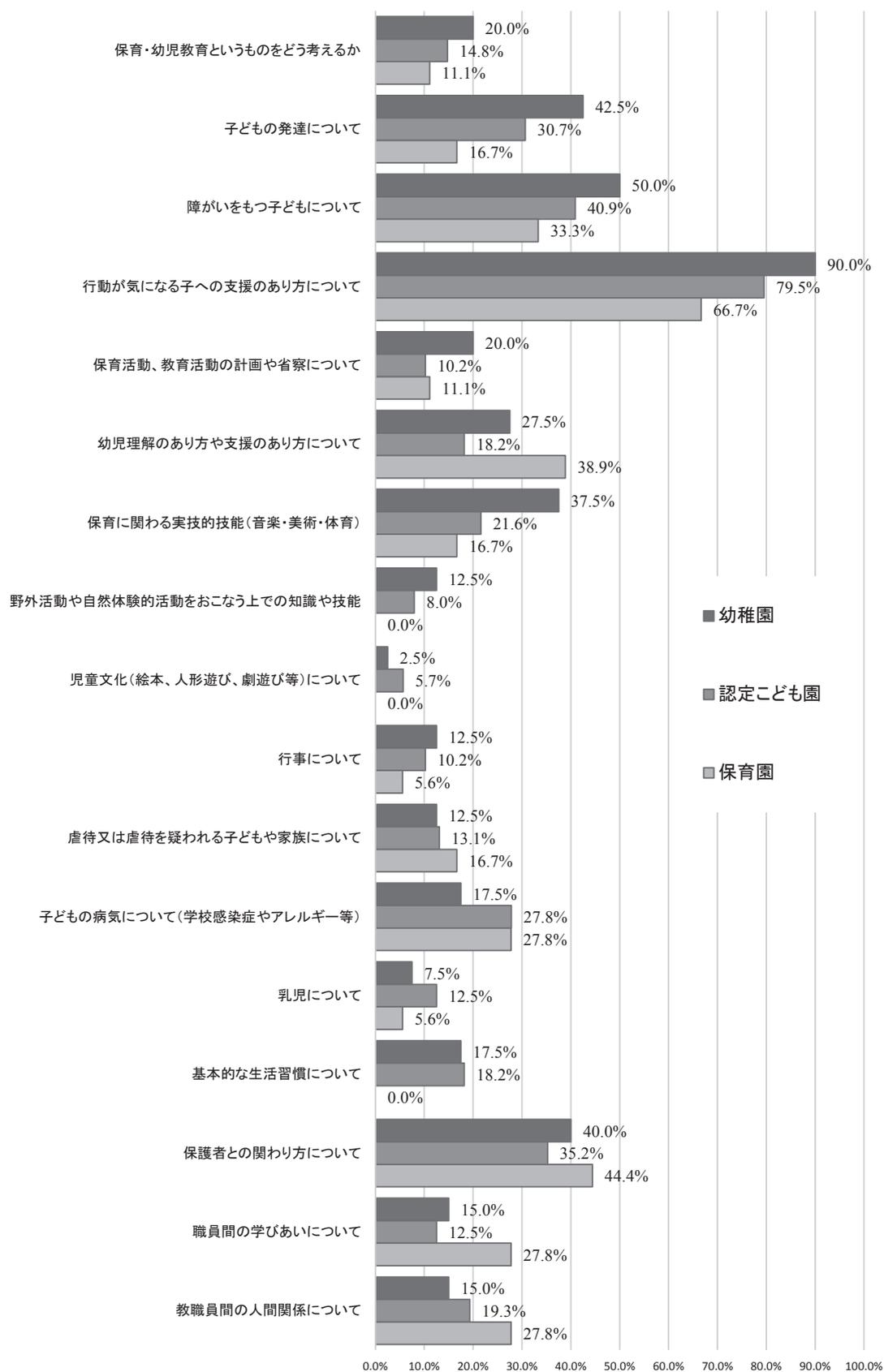


図2 日々の教育・保育の中で困っていること(複数可)
勤続年数別クロス集計(百分率)

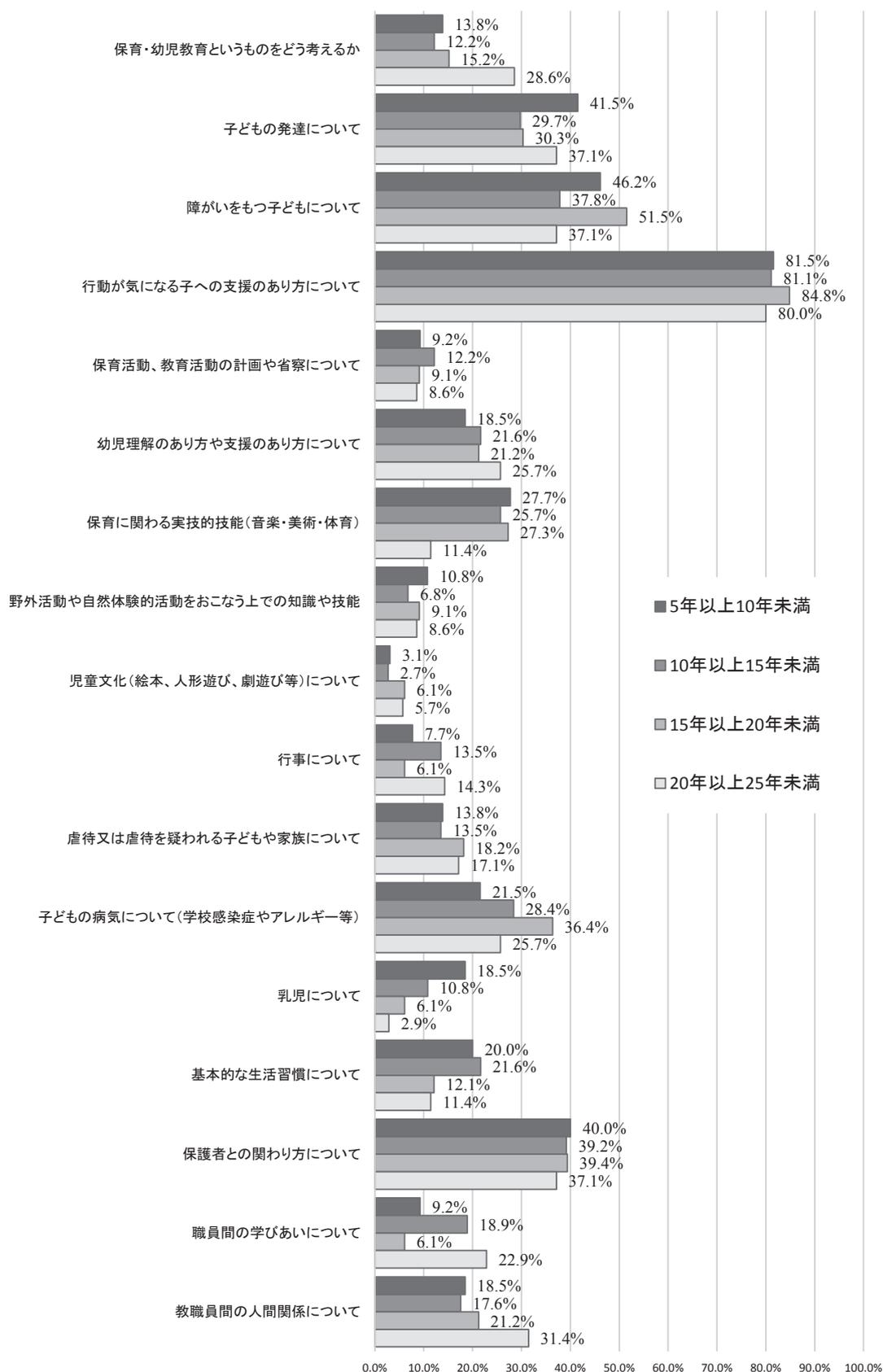
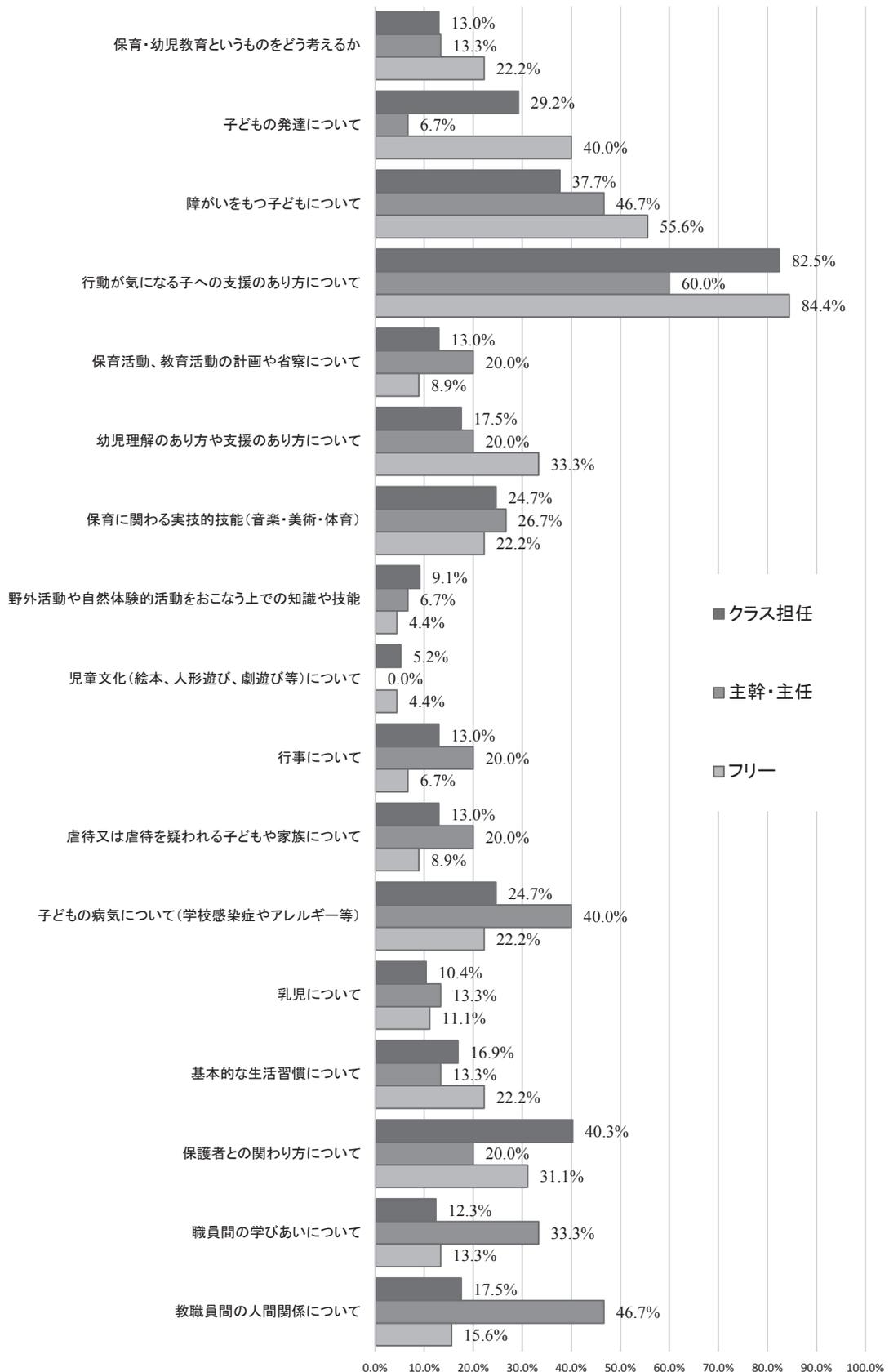


図3 日々の教育・保育の中で困っていること(複数可)
 役職・担当別クロス集計(百分率)



と比べて突出して高い数値（2番目に高い項目の数値が42.6%）といえる。年齢、勤務年数による大きな差は見られなかった。所属による違いは幼稚園と認定こども園の間に10.5ポイントの差が見られたが、これが有意な差であるかどうかは、過去のデータも含めて慎重に検討する必要があると考える。

2番目に高い数値となったのは、「障がいをもつ子どもについて」で、全体では42.6%となった。この項目についての役職・担当の属性別とのクロス集計結果から、クラス担任とフリーの立場の間に17.9ポイントの差が見られた。フリーの立場の方が高い数値となっている。これは、昨年度、一昨年度の調査でも同様の傾向が出ている。また今回の調査では、フリーの立場の場合、どのようなことを担当しているかという項目も設定して質問をしたところ、保育補助と特別支援の役割を担当しているケースにおいて、「障がいをもつ子どもについて」困っているケースが非常に高いことが明らかになった。これらの結果から、障がいをもっている子どもが、フリーの立場の保育者が担当者として任されているケースが少なくないことが要因の一つであり、担任がその担当者と同じように困り感をもっている場合と、担任と担当者の間に困り感の大きさに差がある場合があることが読み取れる。

3番目に高い数値となったのが「保護者との関わり方について」であり、36.9%という結果になった。年齢とのクロス集計結果から、20代、30代、40代が36.8%–40.0%となっていることと比較し、50代が29.7%と少し低めの数値となっている。50代の母数が37名と少ないため、過去のデータとまとめて再考しなければ有意な差であるかどうかは判断が難しい。一方で、勤務経験年数とのクロス集計結果からは、「5～10年」「10～15年」「15～20年」「20～25年」が37.1%–40.0%という結果に対して「1～5年」は22.7%と比較的低い数値となっている。この年齢とのクロス集計結果

と経験年数とのクロス集計結果の違いをどう分析するかが課題である。

4番目に高い数値となったのが、「子どもの発達について」であり30.9%の保育者が困っていると回答をしている。所属とのクロス集計結果から幼稚園と認定こども園の間に11.8ポイントの差が見られた。

5番目に高い数値となったのは「子どもの病気について」の項目であり、26.1%となっている。幼稚園と認定こども園・保育園の間に10.3ポイントの差があり、認定こども園・保育園の方が幼稚園よりも高くなっている。昨年、一昨年の調査でも同様の傾向が出ていることからサンプル数をふまえると明らかな傾向と見てよいのではないだろうか。保育園では子どもの病気が完全に治っていない状態や少しの体調不良でも、保護者の仕事の都合で保育園に預けざるをえないケースがあることは容易に想像できる。

（2）研修などで学んでみたいことについてのクロス集計

全体としては「（1）日々の教育・保育の中で困っていることについて」の結果とほぼ同様の結果となっているが、特記すべき事項について以下に記す。

「障がいをもつ子どもについて」が51.4%となっており、（1）「日々の教育・保育の中で困っていることについて」における同項が42.6%であることと比べて高くなっている。これは障がい特性の理解をすること、その対応方法のポイントを学ぶことで、実践のポイントが理解でき困り感の軽減につながるという期待がもたれているからではないだろうか。近年は新しい研究の成果、例えば発達障がいについての脳科学的な研究や本人の困り感についての研究などが進むと同時にその理解の普及活動も以前と比べると活発におこなわれるようになってきた。やみくもな指導よりも、まずは正しい障がい理解が必要という認識が広がっ

表3 研修などで学んでみたいこと（複数可）

クロス集計（属性別）

回答者数

249名

		3. 研修などで学んでみたいことについて（複数可）																				
合計		3. 保育・幼児教育と子どもの発達について	子どもの発達について	障がいや発達障害のある子どもについて	行動が気になる子どもについて	保育活動、教育活動の計画や書類について	保育活動、教育活動の計画や書類について	保育に関する実践的技術（音楽・体育）	保育に関する実践的技術（音楽・体育）	野外活動や自然体験の活動など	児童文化（絵本、人形劇、劇遊び等）	行事について	行事について	虐待や虐待を疑われる子どもや家族について	子どもの病気を疑って（学校感染症やアレルギー等）	乳児について	基本的な生活習慣について	保護者との関わりについて	職員間の関わりについて	職員間の関わりについて	その他	不明
全体		249	56	111	128	185	35	66	73	28	35	23	42	91	45	39	83	29	32	7	7	
性別	女性	100.0%	22.5%	44.0%	51.4%	74.3%	14.1%	26.5%	29.3%	11.2%	14.1%	9.2%	16.9%	36.5%	18.1%	15.7%	33.3%	11.6%	12.9%	2.8%	2.8%	
	男性	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
年齢	20代	100.0%	15.8%	31.6%	47.4%	78.9%	10.5%	21.1%	15.8%	15.8%	5.3%	10.5%	21.1%	47.4%	15.8%	15.8%	26.3%	5.3%	10.5%	0.0%	0.0%	
	30代	100.0%	26.7%	48.6%	49.5%	79.0%	16.2%	20.0%	35.2%	12.4%	16.2%	10.5%	15.2%	33.3%	20.0%	13.3%	38.1%	14.3%	13.3%	3.8%	1.9%	
	40代	100.0%	18.3%	45.1%	50.0%	68.3%	12.2%	35.4%	26.8%	12.2%	13.4%	12.2%	13.4%	40.2%	19.5%	20.7%	31.7%	9.8%	15.9%	3.7%	3.7%	
	50代	100.0%	21.6%	37.8%	59.5%	73.0%	16.2%	24.3%	27.0%	5.4%	16.2%	0.0%	24.3%	32.4%	10.8%	10.8%	32.4%	10.8%	8.1%	0.0%	0.0%	
	60代	100.0%	40.0%	40.0%	60.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
所属①	公立	100.0%	19.4%	38.7%	51.6%	67.7%	16.1%	32.3%	32.3%	3.2%	9.7%	9.7%	29.0%	35.5%	3.2%	12.9%	35.5%	3.2%	9.7%	3.2%	3.2%	
	私立	100.0%	23.4%	44.7%	50.8%	77.7%	14.7%	24.4%	29.4%	11.7%	15.2%	9.1%	16.2%	35.5%	21.3%	16.2%	34.0%	11.7%	13.2%	3.0%	2.0%	
	不明	100.0%	19.0%	52.4%	57.1%	52.4%	4.8%	38.1%	23.8%	19.0%	9.5%	9.5%	4.8%	47.6%	9.5%	14.3%	23.8%	23.8%	14.3%	0.0%	9.5%	
	幼稚園	100.0%	25.0%	55.0%	52.5%	72.5%	25.0%	30.0%	45.0%	7.5%	17.5%	7.5%	22.5%	30.0%	12.5%	15.0%	10.0%	15.0%	12.5%	2.5%	5.0%	
	認定こども園	100.0%	22.7%	44.9%	51.7%	75.6%	11.9%	25.0%	25.0%	12.5%	13.6%	8.5%	15.3%	36.4%	20.5%	17.0%	31.8%	10.2%	12.5%	2.8%	2.3%	
所属②	保育園	100.0%	11.1%	33.3%	33.3%	55.6%	16.7%	33.3%	27.8%	11.1%	11.1%	22.2%	2.2%	38.9%	11.1%	11.1%	38.9%	11.1%	16.7%	27.8%	5.6%	0.0%
	その他	100.0%	22.2%	11.1%	55.6%	88.9%	0.0%	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%	33.3%	55.6%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	
	不明	100.0%	33.3%	50.0%	83.3%	83.3%	16.7%	33.3%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%		
	幼保連携型（幼稚園由来）	100.0%	23.2%	44.2%	61.5%	76.9%	7.7%	23.1%	21.3%	9.6%	9.6%	7.7%	11.3%	30.8%	17.3%	11.5%	28.8%	1.9%	5.8%	1.9%	1.9%	
	幼保連携型（保育園由来）	100.0%	21.7%	45.7%	48.9%	77.2%	9.8%	26.1%	25.0%	10.0%	15.2%	7.6%	18.5%	46.7%	25.0%	17.4%	31.9%	12.0%	16.3%	3.3%	2.2%	
	幼稚園型	100.0%	18.8%	43.8%	37.5%	68.8%	31.3%	31.3%	25.0%	12.5%	18.8%	12.5%	18.8%	12.5%	6.3%	31.3%	37.5%	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	
	不明	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
勤務経年数	1年未満	100.0%	66.7%	66.7%	66.7%	33.3%	33.3%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	66.7%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	1年以上5年未満	100.0%	45.5%	31.8%	59.1%	72.7%	9.1%	22.7%	36.4%	13.6%	9.1%	13.6%	9.1%	13.6%	4.5%	13.6%	18.2%	0.0%	4.5%	4.5%		
	5年以上10年未満	100.0%	20.0%	47.7%	55.4%	81.5%	7.7%	21.5%	29.2%	16.9%	12.3%	7.7%	18.5%	43.1%	15.4%	12.3%	29.2%	10.8%	9.2%	4.6%	3.1%	
	10年以上15年未満	100.0%	18.9%	50.0%	47.3%	77.0%	18.9%	25.7%	27.0%	6.8%	14.9%	11.5%	12.2%	36.5%	23.0%	20.3%	39.2%	13.5%	14.9%	0.0%	2.7%	
	15年以上20年未満	100.0%	18.2%	39.4%	51.5%	72.7%	15.2%	24.2%	36.4%	9.1%	15.2%	12.1%	21.2%	42.4%	27.3%	15.2%	36.4%	9.1%	18.2%	3.0%	3.0%	
	20年以上25年未満	100.0%	22.9%	45.7%	42.9%	62.9%	14.3%	40.0%	22.9%	5.7%	17.1%	14.3%	17.1%	37.1%	8.6%	11.4%	34.3%	14.3%	17.1%	5.7%	0.0%	
	25年以上30年未満	100.0%	20.0%	20.0%	80.0%	80.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%		
	30年以上	100.0%	33.3%	16.7%	50.0%	66.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	
	不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	役員・担当①	クラス担任	100.0%	22.1%	41.0%	46.1%	76.6%	15.6%	26.0%	29.2%	13.0%	16.2%	10.4%	15.6%	39.0%	20.1%	16.2%	35.7%	11.7%	9.7%	1.9%	1.2%
園長	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
副園長・教頭	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主幹・主任	100.0%	13.3%	10.3%	40.0%	53.3%	33.3%	26.7%	20.0%	6.7%	13.3%	13.3%	20.0%	40.0%	13.3%	20.0%	20.0%	13.3%	26.7%	6.7%	4.0%		
フリー	100.0%	22.2%	57.8%	73.3%	68.9%	8.9%	40.0%	24.4%	13.3%	11.1%	8.9%	17.8%	28.9%	13.3%	22.2%	33.3%	17.8%	13.3%	2.2%	4.4%		
その他	100.0%	25.0%	43.2%	59.1%	72.7%	6.8%	18.2%	34.1%	4.5%	9.1%	2.3%	18.2%	31.8%	13.6%	9.1%	25.0%	4.5%	13.6%	4.5%	4.5%		
不明	100.0%	12.5%	62.5%	75.0%	100.0%	12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%		
役員・担当②	保育補助	100.0%	25.0%	55.6%	75.0%	66.7%	5.6%	38.9%	25.0%	16.7%	11.1%	8.3%	16.7%	25.0%	16.7%	19.4%	33.3%	19.4%	13.9%	2.8%	5.6%	
特別支援	100.0%	0.0%	66.7%	100.0%	83.3%	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%		
子育て支援	100.0%	28.6%	71.4%	71.4%	57.1%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%		
その他	100.0%	28.6%	57.1%	57.1%	57.1%	0.0%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	42.9%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%		
不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
役員・担当③	保育補助	100.0%	14.3%	42.9%	61.9%	66.7%	0.0%	19.0%	19.0%	4.8%	9.5%	0.0%	14.3%	38.1%	14.3%	0.0%	9.5%	4.8%	19.0%	9.5%	4.8%	
子育て支援	100.0%	25.0%	75.0%	62.5%	100.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	50.0%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%		
庶務・園務	100.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
職場復帰	100.0%	60.0%	20.0%	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
その他	100.0%	23.1%	46.2%	61.5%	76.0%	15.4%	15.4%	46.2%	0.0%	7.7%	0.0%	15.4%	23.1%	7.7%	15.4%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%			
不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
他の所持資格	保育士	100.0%	21.2%	43.3%	49.8%	75.1%	14.3%	25.8%	29.5%	12.0%	14.7%	10.1%	17.1%	36.4%	18.9%	16.6%	35.0%	11.5%	13.4%	3.2%	2.8%	
看護師	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
調理師	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
栄養士	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
他の教員免許	100.0%	22.2%	55.6%	55.6%	77.8%	16.7%	22.2%	38.9%	5.6%	11.1%	5.6%	16.7%	44.4%	16.7%	16.7%	44.4%	5.6%	16.7%	5.6%	11.1%		
不明	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

てきたため、研修機会を求める保育者が増えているのではないだろうか。

役職・担当とのクロス集計結果から、クラス担任が46.1%であることに對してフリーの立場の数値は73.3%となっている。27.2ポイントと大きな差が見られた。(1)「日々の教育・保育の中で困っていることについて」の同項目の差が17.9ポイントであり、それと比べてもさらに大きな差が見られる結果となった。これは(1)で述べた要因とともに、障がい特性や支援方法等の理解が正しくされることの必要性・有用性が、障がいをもつ子どもと直接的に関わっている立場の保育者の方がより感じやすい傾向にあることが表れているといえよう。

「幼児教育のあり方や支援のあり方について」は全体では26.5%という数値になっているが、役職・担当とのクロス集計結果では、担任が26.0%であるのに対しフリーが40.0%と14.0ポイントの差があった。これは前述の「障がいをもつ子どもについて」の論考と照らし合わせると、次のようなことが推測できる。幼稚園・保育園・認定こども園に最も多い障がい種は発達障がいであるが、発達障がいは関係性障がいと表現されることもあるなど、周囲の環境との関係により大きな問題として表出されたり、逆に問題として表れなかったりすることがある。ゆえに本人の努力や担当している保育者の指導のみで解決できるものではなく、教室環境のあり方やクラス運営の方法など、人的環境も含めたクラス全体の環境の調整が必要不可欠である。そのような調整無しに、既存の環境への適応のみを求められても問題は解決しないことが多い。そこで結果として、障がいをもっている子どもと直接関わっている立場の保育者の方が、「幼児教育のあり方や支援のあり方について」というクラスや園全体のあり方についても関心を向ける保育者が多いのではないだろうか。ただしこれは数値から見た推測であるので、問題を克服できている事例やそうではない事例など、具体的な

事例研究により裏付けも必要と考える。

「子どもの病気について」の項目は全体としては36.5%という数値になっているが、経験年数とのクロス集計において、「1～5年」は13.6%と大きく低い数値になっている。「(1) 日々の教育・保育の中で困っていることについて」から「1～5年」の保育者のみがそのような状況に直面しない傾向が高いわけではないことが読み取れる。しかし研修の必要性への認識という点で差が出たということは、5年以上の経験者に相談する、対応をお願いする等がおこなわれており、その結果、経験年数が浅い保育者はベテランに比べるとこの項目に対する研修に対して喫緊性を感じる傾向が低いのではないだろうか。その点については、園の中での役割分担や協力体制との関係という視点での調査と併せて検討する必要がある。また今回の調査では、「1～5年」の該当者が22名と少数であることから、昨年、一昨年のデータと合わせて今後、検討する必要がある。

「保護者との関わり方について」の項目でも似たような傾向が見られる。「10～15年」「15～20年」「20～25年」では34.3%～40.0%という数値になっているが「5～10年」は29.2%、「1～5年」は18.2%となっている。保護者対応で難しいケースが発生した際にはベテランの保育者が経験年数の浅い保育者の相談にのったり対応を替わったりするケースはあろう。経験年数を重ねたがゆえに園の中で期待される役割があり、その役割・期待に応えるための知識が得られる研修機会の必要性を感じているのではないだろうか。

(3) 表2「困っていること」の結果と表3「学んでみたいこと」の結果の比較から

2つの調査において多くの項目が同じような傾向を示しているが、一部、違いが見られる部分がある。

全体の数値としてとして最も顕著に差が表れた項目は「子どもの病気について（学校感染症やア

レルギー等)」の項目である。表2に比べて表3の方が13.4ポイントも高い数値になっている。各年代ともに表2に比べて表3の方が高い数値になっているが、特に50代では表2が16.2%に対し、表3が40.0%と23.8ポイントも高くなっている。いずれの年代も表3については30%以上の結果となっている。実際に困っている、困った経験は少なくても、そのような事態に備えて学んでおきたいという気持ちが他の項目と比べて比較的の高い項目といえる。

「子どもの病気について（学校感染症やアレルギー等）」は知識や経験によって、保育者の不安は大きく異なる領域であろう。研修をおこない「知っている」ことで不安が減少し、適切な対応にも直結しやすい。逆に知識がないことで重大な事態にもつながりかねない事項である。

多くの項目が表2よりも表3の方が若干高い数値となっているが、「職員間の学びあいについて」「教職員間の人間関係について」はあまり大きな差ではないものの逆の結果となっている。この項目についての研修希望があまり高くないのは、他の困り感と比較して優先順位が低いためなのか、研修の効果についての期待が低いのか、今回の調査結果のみからはその理由までは判断できない。優先順位を問う調査や個別の聞き取り調査などが必要であろう。

まとめ

「日々の教育・保育の中で困っていること」及び「研修などで学んでみたいこと」についてのアンケート結果の分析をおこなうことによって、様々な属性との関係も含めて、その傾向について明らかにしてきた。一方、様々な困り感や学びたいという意欲はあるものの、研修の多さに追われてしまうと、目の前の子どもにしっかりと向き合ったり同僚と具体的な子どものことや保育・教育のあり方について話し合う機会が持ちにくくなると、研修で学んだ知識が活かされにくい状況が

生まれかねない。学び手の希望や園の状況及び今回の調査から明らかになった経験年数等による傾向をふまえて、適切な研修の質と量や時期を、研修を提供する行政や専門機関等は検討する必要があるであろう。

2つの調査ともに極めて高い数値をえた項目「行動が気になる子への支援のあり方について」「障がいをもつ子どもについて」は、現場が抱えている最も大きな問題として、充実した研修機会の確保が必要不可欠であろう。逆にあまり高い数値が結果として表れなかった項目も、決して重要ではないということではない。必要に応じて選択できるようにするなど、必要に応じた研修機会提供の仕組みが求められる。今回の調査がその一助になれば幸いである。

属性を細かく分類したため、単年度の調査結果では明らかな傾向と判断することが難しい事項もある。本研究は3年間継続しておこなってきた。3年分をまとめることにより母数の少ない属性についての傾向を明らかにする分析が、本研究における直近の大きな課題である。

IV おわりに ーダブルメジャーな人材育成に向けてー

「困り感」の調査研究であるが、同時に3年間を通じた時代の読み取りである。そこには社会制度の在り方、人口動態、ライフワーク、家庭環境などが主に起因しており、スピード化が著しい社会変容は確実に保育実践上の子ども観に通じていることが検証できる。実は困り感は子どもに端を発するものではなく、子どもを通して感じ、見えてくるものであると実感する。データ集計は情報を科学するきっかけとして、今後をさらに展望していく基盤となる。人が読み取って課題や改善のきっかけ、継続的可能な価値を生み出していくことは、むしろ多様な価値を読み取る文学に通じる。

著しい制度上の変遷や目まぐるしく湧いて出る方策の数々に出会いながら、まして、この3年間

は教育要領の改訂で大きな教育上の変革も示された。日々の実践に明け暮れ、そこに関わる保育者の地道な努力と切なる思いと照らし合わせ、養成と実践での共感的理解がこのアンケートを通じて垣間見えたことも記したい。

子どもの実態を把握し、そこに専門的スキルとふさわしい人間性をもって関わり、創造的で価値ある生活を生み出す現場の実践集団である。「保育の本質、臨床的まなざしから生まれる困り感」と「時代の変化に伴う社会や家庭など子どもを取り巻く環境の在り方やそこに生じる子ども観から生まれる困り感」は保育という営みを形成するマクロとミクロの視点である。今や免許更新も通信・放送・Web活用による選択も可能な時代であり、ここまでわずか10年あまりで到達した情報化社会もすでに過去のものとなる。Microに長け、Macroにも長けたダブルメジャーな人材育成が今後は求められるのではないだろうか。免許更新講習と大学のリカレント研修の相互乗り入れは、理にかなった機会と捉えられる。

引用・参考文献

- 一般社団法人 日本経済団体連合会 2018 Society
5.0 ーともに創造する未来ー
- 厚生労働省 2017 保育所保育指針
- 文部科学省 2017 幼稚園教育要領
- 野村朋 2018 「気になる子」の保育研究の歴史
的変遷と今日的課題 保育学研究第56巻第3号
pp. 70-80
- 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017 幼保連
携型認定こども園教育・保育要領
- 柳 晋・星野真由美・栗山宣夫 2017 保育者の
「困り感」と「研修内容」のニーズについて
ー幼稚園免許更新講習受講者へのアンケートの
結果からー 育英短期大学幼児教育研究所紀要
第15号 pp. 51-67
- 柳 晋・星野真由美・栗山宣夫 2018 保育者の
困り感と研修内容の要望についてⅡ ー幼稚園
免許更新講習受講者へのアンケート調査の分析
ー 育英短期大学幼児教育研究所紀要第16号
pp. 49-63